

みなへら まだで そう 通信 No.1

みなへら通信 第1号 2012年6月21日

ゼロ・ウェイスト宣言のまち、水俣から
ムリなく 楽チンに みんなで ごみへらし
みなまたスタイル情報紙

編集：ゼロ・ウェイスト円卓会議
発行：水俣市環境モデル都市推進課

紙の分別に『紙袋』使っていますか？簡単ですよ！！

新聞・チラシ・段ボール以外の「その他紙類」ってけっこう多いんですよ。
資源に出すのは面倒くさくて、つい燃やすごみに入れていませんか？
そんな時は、不要になった紙袋に**ポイポイ**入れると、簡単に資源ごみに出せますよ！！

箱類

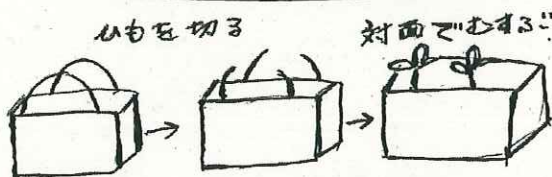


プリント類

(ホッチキスの針は
ついたままでOK)

※ 個人情報に気になる方は、封筒や請求書の
宛名だけを切り取って出すと安心です。
クリーンセンターでの紙の保存期間は
一週間程度。その後は製紙工場でドロドロに
溶かされます。

紙袋での出し方

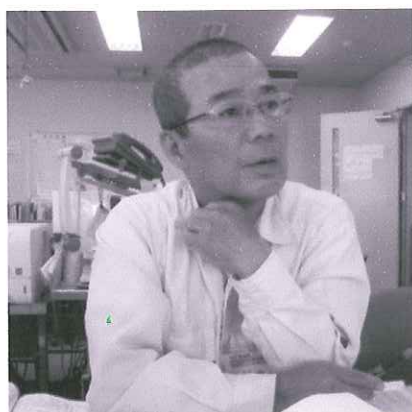


①持ち手のひもを真ん中から切る
②対面のひも同士をこぼれないようにむすぶ。
袋が重いときはビニールひもで縛って良いですが、
紙ひもならもっと良いです！
ガムテープは異物となるので使わないで下さいね。

「紙」で出せないもの

- 汚れた紙 ティッシュペーパー
- レシート ファックス用紙などの感熱紙
(熱処理で黒くなり、再生紙にシミがつく)
- においのついた紙 洗剤・線香・石けんの箱など
- 金、銀、アルミのついているもの・カップ麺の
ふたや紙コップ・紙皿
(コーティングされているものは再生できない)
- 家庭から出るシュレッダーごみ
(収集時に飛び散らないように袋に入れて
燃やすごみへ)

環境クリーンセンター有村さんに聞きました。

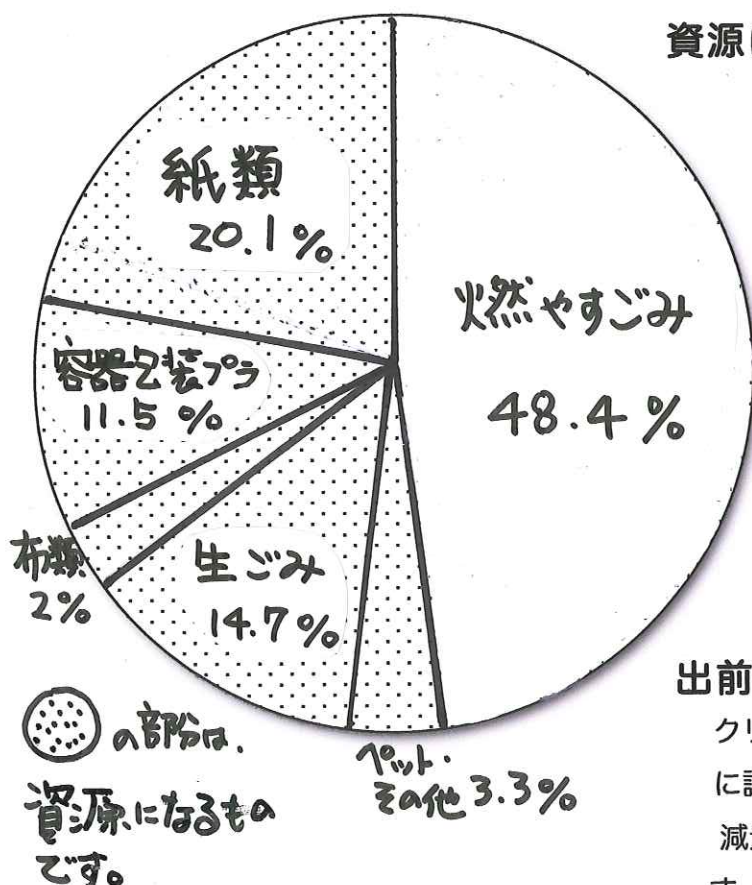


資源になる紙は、燃やすごみの中に平成 23 年度では 950 トンも混じっていたことになります。950 トンの紙を分別すれば約 1,500 万円の売却益があったのですが、これを灰にしたということです。さらに燃やすのには多額の税金を使わなくてはなりません。

ああ、もったいないおぼけが出るう～



☆ 水俣市の燃やすごみの中身を重さで分けると・・・半分以上はしげんでした！



資源になる紙が 20%も入っています

燃やすごみに入っていた資源で一番多かったのは紙！紙類は資源の中でも、売上が一番の稼ぎ頭なのです。分別をがんばっている水俣で、これはおいしい！表面で紹介している紙袋でかんたん分別を始めませんか。不要な紙の行き先を、ごみ箱から紙袋に変えて資源の日に出す、というほんの少しの習慣の変化で燃やすごみが減り、資源の売上げ増で地域に還ってくるお金も増えますよ。紙袋がない時は、小さい紙を雑誌にはさんでしばって出しても OK です。

出前講座を活用しませんか

クリーンセンターでは地域や PTA の集まりなどに講師を派遣して、わかりやすくごみの分別・減量についてお話する出前講座を開催しています。費用は無料です。お問い合わせは環境クリーンセンター 62-4101 へ。

資料：燃やすごみの中の内容物構成比（重量） 水俣市 H22.3

「みなへら通信」は、ごみの焼却・埋立に頼らないまちづくりの仕組みを市民・事業者・行政の協働でつくっていくゼロ・ウェイスト円卓会議が発行する情報紙です。円卓会議に参加する市民のボランティアでつくっています。ごみ減量と情報紙の取材・編集に関心のある方を募集しています。 お問い合わせ：水俣市環境モデル都市推進課 TEL 61-1647